

国交振会報

Kanramachi International
Friendship Association

発行 公益財団法人甘楽町国際交流振興協会
発行日 2025年 12月 1日
事務局 甘楽町企画課
TEL 0274-74-3133 No.107



第12次チェルタルド市青年使節団来町



7月31日(木)～8月5日(火)において、イタリア・チェルタルド市よりシモーネ副市長を団長とする第12次チェルタルド市青年使節団が甘楽町を訪れました。

団員は町内の家庭でホームステイを体験し、日本の生活や文化を学びました。はじめは食文化や生活習慣の違いに戸惑う様子が見られましたが、ホストファミリーと過ごす時間が増えていくにつれ、緊張がほぐれたくさんの笑顔を見せてくれました。

6日間という短い間でしたが、甘楽町で過ごした日々は、両市町の学生にとって国境を越えた友情を実感した時間であり、貴重な経験になりました。

ホームステイの様子



両市町合同交流会 \\ カレー作り体験 \\

国際交流振興協会理事の皆さんにご協力いただき、おいしいカレーを作ることができました！



お別れ夕食会 \\ BBQ! \\

甘楽町で過ごす最後は中学生研修団とバーベキューを楽しみました。学生の間には壁はなく、談笑したり、サッカーをしたりしました。

2週間後にはチェルタルド市で再会し、さらなる交流を深めます。



第19次チェルタルド市訪問 2025.8.18~8.29

甘楽町中学生国際交流研修団派遣



8月18日(月)~8月29日(金)において、第19次甘楽町中学生国際交流研修団(20名)をイタリア・チェルタルド市へ派遣しました。

中学生団員は、市内で6泊7日のホームステイを体験し、海外での生活習慣や日本との文化の違いを学びました。ホームステイ中は、ホストファミリーや第12次青年使節団の皆さんと、フィレンツェやチェルタルド・アルトなどの観光や、買い物へ行ったりして交流を深めました。

また、ホストファミリーの皆さんは団員をあたたかく迎えてくれ、たくさんの愛情を注いでくれました。最終日のお別れ夕食会では踊りの「ソーラン節」と歌の「COSMOS」を披露し、感謝の気持ちを伝えました。短い期間でしたが本当の家族のように接してくれたことで、言葉は通じなくても心は通じ合えるということを感じることができました。

中学生にとって今回の研修は、今後の国際理解への第一歩であるとともに、かけがえのない宝物となったことでしょう。

チェルタルド市の皆さん
Grazie mille!



感謝の気持ちを込めて
「ソーラン節」と
「COSMOS」を披露



裏山にブラックベリー狩りへ



中世の鎧を体験



アドベンチャーパークにて



ホストファミリーとの別れ



ピサの斜塔を背景に





甘楽町駐在事務所 祝 10周年!



駐在事務所
プレート除幕式
▼(H27.6月)



▲今後の交流
を約束して
握手

甘楽町イタリア駐在事務所は平成26年1月に開所しました。

今夏、開所10周年を記念して、新井理事長をはじめとする研修団5名が訪伊し、記念祝賀会を開催しました。総勢57名が出席し、10年の歩みを振り返り節目を祝うとともに、交流の更なる発展と継続を約束しました。

稲葉駐在員は便りの発信や、ワイン・オリーブの輸入、子どもたちの相互交流など、様々な分野で両市町の交流を支えています。これからも両市町の架け橋として活躍されることを期待しています。



蘇った茶室「甘楽庵」



◀ 畳入替後の茶室の様子

▼ 新井理事長より目録贈呈



第19次チェルタルド市訪問甘楽町中学生国際交流研修団の派遣にあわせて、チェルタルド市にある茶室「甘楽庵」の畳の入れ替えを行いました。カンパテッリ市長をはじめ、多くの関係者の皆さまにご協力いただき、無事に畳を交換することができました。新しい畳とともにチェルタルド市と甘楽町の新たな歴史を刻んでいきます。

ご寄付・募金にご協力いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

～令和7年度 会費納入にご協力ください～

当協会は、皆様からの会費や寄付に支えられ運営しており、中学生派遣への補助やサポートを行っています。随時会員を募集しておりますので、国際交流、外国文化等に興味のある方、当協会の趣旨にご賛同いただける方がいらっしゃいましたら、ご入会のお声掛けをよろしくお願いいたします。

★一般会員（個人）年会費 1口 3,000円

★団体会員（法人）年会費 1口 10,000円

【口座振り込みを利用される場合は、下記の銀行口座へお願いいたします。】

群馬銀行甘楽町支店 普通 0052281

（公財）甘楽町国際交流振興協会 理事長 新井嘉之

口座名義カナ ザイ）カンラマチコクサイコウリユウシンコウキヨウカイ

会費納入・お問い合わせ先 町企画課企画係 ☎0274-74-3133



ボッカチェスカ賞 受賞



◀大勢の人で賑わうチェルタルド

▼サポートして下さった皆さん



10月7日(火)~15日(水)まで、BOCCACCESCA(ボッカチェスカ)2025参加甘楽町使節団(6名)がチェルタルド市を訪問しました。使節団は、10日(金)~12日(日)までの3日間開催された同市の食の祭典「BOCCACCESCA」へ参加し、甘楽町ブースを出店しました。毎年、市内外から多くの観光客が訪れる本祭典。今回、甘楽町ブースでは日本食の代表格である天ぷら、日本酒、すいとん、おにぎり、日本茶を提供しました。チェルタルド市の皆さんに運営をサポートしていただきながら、イベントは大盛況に終わりました。

また、姉妹都市提携から42年を迎え、長年にわたる友好と文化交流の功績が称えられ、ボッカチェスカ賞が贈られました。

なお、本イベントで得た売り上げ金は、チェルタルド市国際文化交流推進協会に寄付され、今後の両市町の交流推進のために活用されます。



▲甘楽町ブースの様子

ボッカチェスカ賞受賞の様子▶



日本×ニカラグア共和国 外交樹立90周年

甘楽町は2020東京オリンピックで、ニカラグア共和国代表団のホストタウンとして登録されたことをきっかけに交流を開始し、今日に至るまで様々な形で交流を継続しています。

本年、日本とニカラグア共和国外交樹立90周年を記念し、使節団を派遣しました。日本の文化の象徴であり、ニカラグア共和国でも人気のある日本武道「空手」を通じて交流を行いました。空手交流では世界大会でも活躍している、甘楽町在住の林心優(はやしみゆう)さん(甘楽中3年)と林愛莉(はやしあいり)さん(甘楽中1年)が、形や組手の模範演武を披露するなど、現地の子供も達から囲まれ、憧れの的として注目されていました。

また、滞在中には甘楽町で収集した中古靴の寄贈や、令和6年度に贈呈した消防車の視察、エル・ロサリオ市内の中学校との交流などを行いました。

外交樹立90周年という節目に、改めて両国の絆を確認するとともに、100周年に向けて更なる二国間関係の発展・深化に寄与・貢献することを約束しました。



空手杯で組み手を披露する林姉妹

靴を贈呈する森平町長

寄贈した消防車を視察